デモンストレーションスポーツ

31競技が県内24の市町で行われ、6,000人以上の県民が参加しました。

● アームレスリング
宇都宮市

● インディアカ
さくら市

● ウォーキング
鹿沼市・那須烏山市・益子町

● エアロビック
那須町

● オリエンテーリング
矢板市

● カローリング
高根沢町

● キッズトライアスロン
那須塩原市

● キンボールスポーツ
下野市

● クリケット
佐野市

● さいかつぼーる
那須塩原市

● 3B体操
那珂川町

● スポーツウエルネス吹矢
足利市

● スポーツチャンバラ
大田原市

● スマートフェンシング
上三川町

● 3x3
宇都宮市

● ソフトバレーボール
真岡市

● ターゲット・バードゴルフ
壬生町

● タグラグビー
栃木市

● ダンススポーツ
大田原市

● ドッジボール
佐野市

● 長ぐつアイスホッケー
日光市

● バウンドテニス
野木町

● パークゴルフ
足利市

● フォークダンス
小山市

● フットサル
宇都宮市

● フットベースボール
栃木市

● フライングディスク
市貝町

● ふれあいトランポリン
茂木町

● ペタンク
高根沢町

● ママさんバレーボール
芳賀町

● リレーマラソン
大田原市

音声コード

総合閉会式　10月11日(火)

会期前実施競技を含め、合計21日間にわたって「一期一会」の出会いと多くの感動が生まれた「いちご一会とちぎ国体」。佳子内親王殿下の御臨席のもと行われた総合閉会式では、レスリング少年男子の植木優斗選手と馬術少年の瀧田玲選手が天皇杯・皇后杯第２位の表彰状を受け取りました。ホッケー成年男子の大橋雅貴選手、水泳(飛込)成年女子の榎本遼香選手が炬火を分火し、いちご一会とちぎ大会に出場する車いすバスケットボールの増渕倫巳選手、卓球の薄井えりか選手に炬火を引き継ぎました。

佳子内親王殿下

入場する栃木県選手団

表彰状授与

表彰状

炬火の分火

炬火の引継ぎ

鹿児島県へ国体旗の引継ぎ

熱戦を終えた栃木県選手団

音声コード

いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

令和4(2022)年10月29日(土)～31日(月)

開会式 10月29日(土)

開会式には選手団や大会関係者、観覧者など約1万4千名が参加。秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御臨席された式典では、とちぎ国体から引き継がれた炬火が栃木県選手団の陸上競技の数度美幸選手と日野花音選手によって点火され、陸上競技の加藤凜香選手と松下裕哉選手が選手代表宣誓を行いました。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下

栃木県選手団入場

炬火点火

選手代表宣誓

閉会式 10月31日(月)

高円宮妃殿下の御臨席のもと、約5,500名の選手団が参加し閉会式が行われました。炬火が納火され、次回開催の鹿児島県へ大会旗が引き継がれました。笑顔で退場する選手らを本県選手団が見送り、3日間にわたる大会が閉幕しました。

高円宮妃殿下

退場する選手を見送る都道府県応援団と栃木県選手

大会を終え笑顔の栃木県選手団

音声コード

正式競技

本県では初となる、全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されました。
栃木県勢は金62個、銀41個、銅41個の計144個の過去最多となるメダルを獲得。台風や新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった本大会は各会場で選手達の笑顔があふれました。

陸上競技

宇都宮市

金メダル30個、銀メダル15個、銅メダル15個を獲得。
砲丸投の飯島選手が大会記録を更新した。

水泳

宇都宮市

金メダル13個、銀メダル5個、銅メダル7個を獲得。50m背泳ぎ女子の吉原選手、50m背泳ぎ男子及び50mバタフライ男子の大島選手、25m背泳ぎ女子の落合選手の3名は大会記録を更新し、会場を沸かせた。

■ 上位入賞者（個人競技）

結果	競技	選手氏名	種目
1位（金メダル）	陸上競技	青木　龍太	砲丸投
			ソフトボール投
		浅野　俊也	50m
			立幅跳
		飯島　美佐子	砲丸投　【大会新記録】
		臼井　悠斗	100m
			200m
		遠藤　慎之介	立幅跳
		加治佐　博昭	800m
			1500m
		加藤　凜香	100m
			200m
		木村　勇翔	400m
			800m
		久保野　泰央	100m
			走幅跳
		佐藤　太市	立幅跳
		澤田　陽南	400m
		数度　美幸	100m
		杉本　汐夢	200m
			400m
		関　潤一	100m
		関根　圭輔	400m
		奈良田　栄一	砲丸投
		原　恵美	50m
			立幅跳
		水沼　幹行	立幅跳

結果	競技	選手氏名	種目
1位（金メダル）	陸上競技	矢島　一美	砲丸投
			ジャベリックスロー
		山口　璃癒	走高跳
	水泳	大島　茄巳琉	50m背泳ぎ　【大会新記録】
			50mバタフライ　【大会新記録】
		落合　有佳利	25m自由形
			25m背泳ぎ　【大会新記録】
		小塙　美紀	25m自由形
			25m背泳ぎ
		小室　元気	50m背泳ぎ
		齋藤　一法	25m自由形
			25m平泳ぎ
		斎藤　靖	25m背泳ぎ
			25mバタフライ
		吉原　未来	25m自由形
			50m背泳ぎ　【大会新記録】
	アーチェリー	大塚　忠胤	リカーブ 30mダブルラウンド
	卓球	石塚　優子	一般卓球
		薄井　えりか	一般卓球
		酒井　恒夫	一般卓球
		櫻井　亜叶	サウンドテーブルテニス
		櫻井　伸彬	一般卓球
		田野倉　祥子	一般卓球
		藤沼　貴大	一般卓球
		松岡　一徳	一般卓球
		目黒　晴愛	一般卓球

結果	競技	選手氏名	種目
1位（金メダル）	フライングディスク	古口　正文	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
			ディスタンス　メンズ・シティング
		齋藤　太一	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		日向野　修	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		藤沼　脩平	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		矢野　美津子	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
			ディスタンス　レディース・スタンディング
	ボッチャ	大山　智子	
		関　尚央	
	ボウリング	真山　尚美	

結果	競技	選手氏名	種目
2位（銀メダル）	陸上競技	飯島　美佐子	50m
		飯田　佑介	400m
		石井　隼人	800m
		市田　敬一	砲丸投
			ソフトボール投
		宇賀神　夢也	ソフトボール投
		神山　賢太郎	立幅跳
		澤田　進	ソフトボール投
		関　智博	ソフトボール投
		高野　脩斗	400 m
		直井　典夫	ソフトボール投
		奈良田　栄一	ソフトボール投
		松下　裕哉	400 m
		山口　璃癒	走幅跳
		吉田　哲朗	100 m

音声コード

アーチェリー　那須烏山市

金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル3個を獲得。
リカーブ30mダブルラウンドでは、大塚選手が強さを発揮し、見事金メダル。

卓球（サウンドテーブルテニスを含む）　鹿沼市

栃木県が発祥とされるサウンドテーブルテニスと一般卓球の合計で、金メダル9個、銀メダル9個、銅メダル5個を獲得。今大会では県勢最多の5回目の出場となった宇賀神選手も銅メダルを獲得した。今大会から精神障害区分が追加された。

フライングディスク　栃木市

金メダル7個、銀メダル9個、銅メダル7個を獲得。
古口選手、藤沼選手、日向野選手、矢野選手、齋藤選手が金メダルに輝いた。

ボッチャ　那須塩原市

今大会から正式競技として初めて開催されたボッチャ。本県からは3組6人が出場し、金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得し、白熱したプレーに会場が沸いた。

ボウリング　足利市

金メダル1個、銅メダル1個を獲得。
壮年女子の真山選手が後半我慢の展開になるも見事接戦を勝ちきり金メダルを獲得した。

結果	競技	選手氏名	種目
2位（銀メダル）	水泳	飯浜　嘉光	25m背泳ぎ
		石坂　梨紗	25m背泳ぎ
		喜井　寛	50m自由形
		小室　元気	25m自由形
		鈴木　宏都	25m自由形
	アーチェリー	中村　真希	コンパウンド　30mダブルラウンド
	卓球	天野　涼大	一般卓球
		飯島　隆斗	一般卓球
		加藤　輝夫	一般卓球
		川田　恵子	一般卓球
		島也　博明	一般卓球
		添野　純	一般卓球
		塚谷　想真	一般卓球
		林　玲斗	一般卓球
		吉田　克夫	一般卓球
	フライングディスク	伊藤　心陸	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		上野　哲史	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
			ディスタンス　メンズ・スタンディング
		上野　千恵美	ディスタンス　レディース・スタンディング
		齋藤　明	ディスタンス　メンズ・スタンディング
		白川　博子	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		矢口　キヨ子	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
		山田　利男	アキュラシー　ディスリート・セブン
			ディスタンス　メンズ・スタンディング
	ボッチャ	荒井　南美	
		津田　柚季	

結果	競技	選手氏名	種目
3位（銅メダル）	陸上競技	薄井　遥珈	100m
			200m
		澤田　進	50m
		清水　あろあ	50m
			ソフトボール投
		数度　美幸	立幅跳
		関　潤一	200m
		早乙女　拳正	走幅跳
		仲井　真大	800m
		西﨑　隆成	ソフトボール投
		日野　花音	走幅跳
		穂積　正江	400m
		前原　武雄	砲丸投
		松下　裕哉	200m
		吉田　哲朗	200m
	水泳	飯浜　嘉光	25m自由形
		池田　廉心	25m自由形
		石坂　梨紗	50m背泳ぎ
		植竹　海晴	50m背泳ぎ
		喜井　寛	25m平泳ぎ
		鈴木　宏都	50m自由形
		池田　廉心 石坂　梨紗 植竹　海晴 中村　光章 矢野　悠希	4×50m メドレーリレー

結果	競技	選手氏名	種目
3位（銅メダル）	アーチェリー	大豆生田　正勝	コンパウンド　30mダブルラウンド
		齋藤　宏一	コンパウンド　30mダブルラウンド
		堀江　麻衣	コンパウンド　30mダブルラウンド
	卓球	宇賀神　シゲ	サウンドテーブルテニス
		坂田　英樹	サウンドテーブルテニス
		鈴木　綾華	一般卓球
		花塚　海	一般卓球
		葭葉　真寿海	一般卓球
	フライングディスク	石川　元胤	ディスタンス　メンズ・スタンディング
		伊藤　心陸	ディスタンス　メンズ・スタンディング
		坂本　邦雄	アキュラシー　ディスリート・ファイブ
			ディスタンス　メンズ・スタンディング
		林　桃香	ディスタンス　レディース・スタンディング
		藤沼　脩平	ディスタンス　メンズ・スタンディング
		星野　桃也	ディスタンス　メンズ・スタンディング
	ボッチャ	増子　亮 峯岸　裕之	
	ボウリング	宮本　恵	

■ 上位入賞チーム（団体競技）

結果	競技名
2位（銀メダル）	サッカー
3位（銅メダル）	バレーボール（知的・女子）
	フットソフトボール

音声コード

バスケットボール

宇都宮市

男子、女子が出場し、惜しくも初戦敗退。男子は交流戦で1点差の接戦を制し1勝をあげた。

ソフトボール

大田原市

終盤に得点を重ねるも、初回の失点を返しきれず、惜しくも初戦敗退した。

バレーボール

身体・知的／宇都宮市
精神／佐野市

身体／男女ともに1回戦を見事に勝ち上がるも2回戦で敗戦。苦しい場面でも最後まで諦めず戦い抜いた。
知的／男女ともに3位決定戦に出場。男子は惜しくも敗戦。女子は勝利し銅メダルに輝いた。
精神／3位決定戦で善戦するも敗退。果敢なプレーに観客からは拍手が起こった。

車いすバスケットボール

小山市

東京パラリンピック日本代表の高松選手を擁する本県チームは、1回戦で惜しくも敗戦。一進一退の白熱した戦いに多くの拍手が送られた。

グランドソフトボール

宇都宮市

3位決定戦で惜しくも敗戦となったが、持てる力を発揮した見事な戦いだった。

サッカー

真岡市

見事に決勝進出を果たし、延長まで戦い抜いた末に惜敗となったが、堂々の銀メダルを獲得した。

フットソフトボール

足利市

3位決定戦で見事勝利し、銅メダルを獲得。チーム全員で一丸となって戦い見事メダルを手に入れた。

オープン競技

卓球バレー

宇都宮市

車椅子ダンス

栃木市

スポーツウエルネス吹矢

さくら市

音声コード

日本一のおもてなし

選手団をはじめとした来県者の皆様をおもてなしの心で温かく迎えるため、開催機運の醸成から、花いっぱい運動、環境美化活動、手作り応援のぼり旗の作成、都道府県応援団、開・閉会式会場等での各種ボランティア活動など、多くの県民の方々にご協力いただきました。

いちご一会広場

とちぎならではのよさを実感いただき、「栃木県に来てよかった」、「また栃木県に来たい」と思っていただけるよう、栃木県総合運動公園やいちご一会とちぎ大会の各競技会場におもてなしととちぎの魅力発信の拠点となる「いちご一会広場」を開設しました。

同広場では、いちごをはじめとした農産物や伝統工芸品のPR、競技体験、ご当地グルメや両大会グッズ等の販売ブースの開設、銘菓等によるおふるまいにより、本県の魅力・実力を全国に向けて発信することができました。

音声コード

環境に配慮した取組の成果

環境先進県として、「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言を行い、大会運営の中で様々な環境配慮に取り組みました。

再生可能エネルギー電気使用による CO_2削減量
851t

大会運営に県営水力発電所で発電した、CO_2フリーの「とちぎふるさと電気」を活用したほか、J-クレジットによるCO_2オフセットを行いました。

EV/FCVの使用台数(のべ)
104台

環境配慮のPRブースを設置したほか、ブース運営の電源などにEVやFCVを活用しました。

パンフレットなどの電子化による紙媒体の削減量
1,780万枚

「観戦ガイドブック」や「総合プログラム」などを電子化し、紙の使用を大幅に削減しました。

スポーツGOMI拾い大会など環境イベントへの参加者数(累計)
12,654人

競技会場周辺でスポーツGOMI拾い大会を開催したほか、いちご型のゴミ袋を活用した「いちご一会きれいな街で迎え隊」活動を実施しました。

大会応援用ハンドタオル製作に回収した古着の量
2.1t

県民の皆さんから集めた衣料品をハンドタオルに再生する「県民参加プロジェクト」を実施しました。ハンドタオルは都道府県応援団の児童生徒が活用しました。

エコ製品・サービスの使用件数
170件

県内企業の技術力を生かした再生PET素材の選手団ユニフォームや、県産おからを使用したバイオマスプラスチックの資料袋など、メイド・イン・とちぎのエコ製品を積極的に活用しました。

●国体パートナー (JSPO)

私たちは「いちご一会とちぎ国体」を応援しています!

asics / 大塚製薬 / mizuno / 三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP / 時事通信 / セレスポ

●大会特別協賛

私たちは「いちご一会とちぎ大会」を応援しています!

DAIDO 大同生命

●国体パートナー (TOCHIGI)

私たちは「いちご一会とちぎ国体」・「いちご一会とちぎ大会」を応援しています!

ALSOK 北関東綜合警備保障 / TKC / 足利銀行 / フタバ食品株式会社 / 栃木銀行

下野新聞社 / 藤井産業株式会社 / Since 1923 100年 一般社団法人 栃木県建設業協会 / ヨークベニマル

関東自動車 / for the SMILE KGK環境整備 / NSK ナカニシ / Dexerials

●オフィシャルスポンサー

私たちは「いちご一会とちぎ国体」・「いちご一会とちぎ大会」を応援しています!

TOYOTA WOODYOU HOME / 株式会社カンセキ / NTT東日本 / KOYO 光陽エンジニアリング / 大和証券 Daiwa Securities

公益財団法人 とちぎ建設技術センター / KGK 菊地歯車株式会社 / JAグループ栃木 / JP POST 郵便局 関東支社 / タキザワハム

TOKYO GAS NETWORK / KYOEI 協栄産業株式会社 / Kao きれいを こころに 未来に / カワチ薬品

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会

(事務局:栃木県国体・障害者スポーツ大会局内)

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20 県庁北別館

TEL:028-623-3845 / FAX:028-623-3527

HPも見てね! とちぎ国体

■いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会公式マガジン第15号 2023年1月発行

音声コード